

## 第43回東海北陸生協行政合同会議 報告

日時:令和3年10月8日(金)午後1時30分～午後5時30分

場所:名古屋栄東急REIホテル(名古屋市中区栄3丁目1番8号)

東海北陸6県の行政と生協の相互理解を深める事を基本に、今回のテーマを「安心して暮らし続けられる地域社会づくりをめざして」とし、行政からは消費者行政にかかわる現状をご報告いただき、生協からは活動状況を報告しました。

主催:東海北陸生協県連協議会

(愛知・石川・岐阜・静岡・三重・富山の各県連)

参加者:51名 行政9名、日本生協連3名、講師1名、生協38名

■開催地生協連挨拶(抜粋) 森常任理事

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により延期、今年ハイブリッド形式で開催することとした。多様な生協である愛知県生協連は来年で70周年を迎える。今回の会議のテーマは「安心して暮らし続けられる地域社会づくりをめざして」とさせていただいた。消費者被害防止や見守りネットワークの推進など32会員生協が連携し、行政と一緒に課題解決に取り組んでいきたい。

■来賓ご挨拶(抜粋) 愛知県県民文化局 伊藤部長様

新型コロナウイルスによる日常生活への影響は甚大だが、ワクチン接種率の上昇等により、感染者が減ってきている。また、近年は気候変動により全国的に豪雨災害が増加傾向にある。今年度はあいちビジョン2030の理念をもとに、エシカル消費の情報発信と普及計画を重点に推進していく。生協には、商品の開発と普及、学習会などを実施していただき大変感謝している。この会議は、生協と行政が集う大変良い機会と考えている。

■主催者代表挨拶(抜粋) 東海北陸生協県連協議会 加藤代表

安心して暮らし続けられる地域社会の実現に向けて、  
たとえば消費者被害防止や高齢化社会への対応、  
風水害や巨大地震による大規模災害への対応など、  
行政みなさまの意見をしっかりお聞きし、  
課題解決に向けて取り組んで行く。

■厚生労働省ご挨拶(抜粋) 社会・援護局 内山室長様

第43回 東海北陸生協行政合同会議

コロナ禍において生協のみなさまには、宅配事業や医療福祉事業など、国民の暮らしを支える事業運営にご尽力をいただき、行政として大変感謝している。

厚生労働省としては、地域共生社会の実現に向けて、法的改善も実施してきた。

また、近年は多くの自然災害が発生している。今後も、災害発生時にはSDGsの基本理念のもと、協同のチカラを発揮する生協の活動にこれからも期待をしている。生協は地域社会の中で、無くてはならない組織であると考えている。

■⑥日本生協連報告(抜粋) 執行役員 伊藤渉外広報本部長様

第43回 東海北陸生協行政合同会議

全国の生協の事業については、在宅率(利用者)の増により、特に宅配事業は好調であったものの、大学生協や職域生協は大変厳しく、医療生協は多忙な状態が続いている。

現在地域生協の世帯加入率は38%であるが、2030年には50%達成をめざしていきたい。

コロナ禍において、全国の生協では様々な支援活動を実施してきた。包括連携協定の締結も全国で広がっている。

これからも、日本生協連は地域共生社会の実現に向けて様々な課題に取り組んで行く。

■⑦特別講演(抜粋) 名古屋大学教授 福和先生  
『過去の災禍に学び、来たる大災害に備える』

人類の歴史は災害と感染症によって  
つくられてきたことに、改めて気づいた。  
歴史が変わる時、地震と風水害、感染症が起きている。

人類は過去の歴史から学ぶことが大切。  
国として、歴史から反省し備え、次の時代に社会を残さなければ  
ならない。風水害の対策は行政でできるが、  
地震対策は国民自らが気づき、対策を実施することかが大切。  
国民の心にスイッチを入れることができなければ、  
大規模な地震からの被害を免れることはできない。  
そのことに対して、生協には大変期待をしている。  
災害対応については、東海北陸6県の生協の力を合わせる  
ことも大切。

■⑦特別講演(抜粋) 名古屋大学教授 福和先生  
『過去の災禍に学び、来たる大災害に備える』

南海トラフ地震の震源地は日本列島の近くが予想される。愛知県には自動車産業を中心に、多くの産業がある。愛知県の産業が影響を受けるということは、日本の産業が影響を受けるということ。災害後の復興計画を前もってつくっておくことが必要。

「減災のことを本音で話そう。」

「夢を持った人間が、見ようとしのないものをしっかり見て、  
勇気を振り絞って実践していきましょう。」

■⑧各県行政報告(抜粋) 石川・岐阜・静岡・三重・愛知県 産生協行政合同会議

(1) 石川県県民文化局生活安全課 中出勤子様  
消費生活相談状況、高齢消費者被害防止の対策

(2) 岐阜県環境生活部県民生活課 高井温史様  
消費者行政に対する主な取り組み、消費生活相談状況

(3) 静岡県くらし・環境部県民生活局県民生活課 内藤慶子様  
高校生消費者教育出前講座、エシカル消費の推進

(4) 三重県環境生活部くらし・交通安全課 古野博正様  
消費者行政の三本柱、消費者啓発・消費者教育

(5) 愛知県県民文化局県民生活部県民生活課 河野直樹様  
あいち消費者安心プラン2024、高齢者等見守りネットワーク

■⑨活動報告(抜粋) 生協コープあいち 本川ブロック長

豊明市と連携して、高齢者の問題や課題を解決することを目指し、けやきいきいきプロジェクトを推進。店舗で購入した商品を自宅に配達する「ふれあい便」を公的サービスとして豊明市と締結。

3つの協同組合(南医療生協、JAあいち尾藤、コープあいち)が連携し、高齢者等の困りごとを、市民同士が支えあい解決する、受託事業おたがいさまセンター「ちゃっと」の事業を実施。コロナ禍で生活困窮の方のくらしの不安に立ち向かう支援事業として「まごころサポート便」の展開している。これからも、コープあいちは組合員のくらしの不安ら立ち向かい、くらしの願いを実現できる生協になります。

■⑩次回開催県ご挨拶 石川県生協連 長谷川会長理事

■⑪閉会あいさつ 加藤常任理事

第43回 東海北陸生協行政合同会議



オンラインによる会議も定着してきましたが  
来年は各県みなさまのお顔を直接拝見でき  
ると嬉しいです。